学校番号	１００４

令和８年度　（学）国際教養

教科	（学）国際教養	科目	（学)古典芸能（能楽）	単位数	２単位	年次	２・３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

能は日本古来の舞台芸術です。芸術として根付いた背景には、日本の文化が深く関わっています。能を学びながら日本のことを見つめ直しましょう。また、世界を相手に働いたり、他国の人たちと関わるには日本を語れる人材である必要があります。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
基本的な謡の声、舞の姿勢を身に付ける。又、能を通じて日本文化の知識を得る。
【思考力、判断力、表現力等】
能が舞台芸術であることを実感し、伝わる表現が出来るようになる。又、体験を通してより深く日本文化に触れることにより、自分の言葉で日本を語れる人材になる。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に能を通じて日本文化を学ぼうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・能を通じて日本文化の知識を身に付けている。 ・能に関する基礎的な技術を身につけている。	・能という舞台芸術を通じて表現することができている。 ・日本文化についての理解を深め、日本を語ることができている。	・積極的に能を学び、能を学ぶ過程で日本文化を学ぼうとすることができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	「猩々」謡と舞の稽古	能舞台の構造、姿勢、歩き方、声の出し方を実践を通じて身に付ける。	a: 能に関する基礎的な技術を身につけている。 能を通じて日本文化の知識を身に付けている。 b: 能という舞台芸術を通じて表現することができ、日本文化への理解を深めることで日本を語ることができている。 c: 積極的に能を学び、能を学ぶ過程で日本文化を学ぼうとすることができる。	ワークシート 発表	ワークシート 発表	ワークシート 行動観察
	文化祭舞台発表への取り組み	内容理解に努め、表現に結び付けるようにする。	a: 稽古につとめ、所作の意味を理解した上で舞う b:所作の由来から説明することができる c: 積極的に能を学び、能を学ぶ過程で日本文化を学ぼうとすることができる。	ワークシート 発表	ワークシート 発表	ワークシート 行動観察
	能楽堂での鑑賞のための事前学習	舞台発表への準備を通し、伝えるという事を意識出来るようにする。	a: 舞台発表へ準備を通じ、縁者を引き立たせるものを知り、大切にすることができる b: 舞台発表の準備から終了までを俯瞰し準備することができる c: 積極的に能を学び、能を学ぶ過程で日本文化を学ぼうとすることができる。	ワークシート 発表	ワークシート 発表	ワークシート 行動観察
2学期	能楽堂での鑑賞	自分なりの鑑賞のポイントを見つけ、感じたことを自身の舞台に結び付けられるようにする。	a: 自分の鑑賞ポイントがどのように形成されたか説明することができる b: 芳しくない発表であったとき、不足していたものを説明できる。 c: 積極的に能を学び、能を学ぶ過程で日本文化を学ぼうとすることができる。	ワークシート 発表	ワークシート 発表	ワークシート 行動観察

	学内発表への取り組み	講座全員で取り組み、「神・男・女・狂・鬼」の、能の五番立て番組の完成を目指す。	a: 演者、裏方が共通の目標を持って活動できるよう注力する事ができる b: 永年にわたる継続を可能にしたものが何か説明することができる c: 積極的に能を学び、能を学ぶ過程で日本文化を学ぼうとすることができる。	ワークシート 発表	ワークシート 発表	ワークシート 行動観察
3学期	学内発表					

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度